

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年2月20日

事業所名: 放課後等デイサービス 青空

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	スペースは、複数のグループで活動できるよう、パーティションを使用して分割できます。	活動の内容に合わせて、公共の施設、公園なども利用しています。放デイ事務所にある空きスペースを補助的に利用できるようにリノベーションしました。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	法定職員数の確保は遵守している。	常に不足のないように、安定した職員配置が目標です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	建築時からバリアフリー化設計されています。職員の配置を工夫し、死角をつくらないようにしている。	雑然とした感をすっきりとさせ、「やりたい」と思ったら直ぐに活動にとりかかれるよう、収納スペースなどの整理整頓が改善目標になっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	子どもたちの使用状況に合わせて、荷物置き場など工夫しています。子どもたち主体の居場所作りを目指しています。	子どもたちとともに掃除を行い、荷物の置き場所の定位置化を意識するようにしました。収納スペースの使い方を、常に改善目標にしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2	出勤時間を早め、職員間の会話の時間を増やしています。情報共有の場にはしています。	「打ち合わせ、振り返りの時間が多くとれない。パート職員さんたちも含めた会議が必要。」という意見をもとに、改善しました。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	歴代の子どもとの保護者とともにつくってきた事業所のかたちが今あると思っています。	いろいろな保護者との機会をもって、気軽に保護者からより多くのご意見を頂けるような事業所や職員集団にしていくことが目標。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	毎年、自己評価アンケートを保護者と事業所職員にとり、その集計結果と結果を踏まえた改善に向けた内容をホームページにて公表しています。	この度、ホームページでの公表を知らない職員がいたことがわかり、周知できていなかったことを反省致しました。周知を行いました。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	法人内の他事業所職員の視察時にご意見をいただいて、業務改善に努めています。	法人独自の第三者を交えた評価を行う予定。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	職員同士、ともに学ぶ姿勢で、取り組んでいます。	法人および放デイ事業部、事業所内部、また外部の研修の機会を選択し、できるだけ職員に受講できる機会をもてるようにしています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	子どもと保護者のニーズと主訴がどこにあるか、客観的に捉えるように努めています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	アセスメントツールを標準使用することはありませんが、法人の発達相談員と連携しています。	来年度、アセスメントツールについて、学ぶ機会を計画します。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	子どもの5領域を理解したうえで、個人活動と集団活動で、支援を行っていく。	5領域を理解し4基本活動を目標にした個人活動と集団活動で、支援を行っていく。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	6	0	子ども本人、保護者のニーズを捉えた支援計画に沿って、支援プログラムを組んでいます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	パート職員も含めた職員ミーティングの時間を増やすようにした。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	子どもや職員が生き生きと活動できるプログラムを立案しています。	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	平日は休息を。休日や長期休暇には、生活リズムや活動の計画性を重視した意識づけをとっています。	
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	個別の生活支援が必要な子、集団でのなかまとの関係を深めることを意識させたい子など、丁寧に作成している。	子どもたちが“やりたいこと”をできる環境だと思えます。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	パート職員の出勤時間枠を広げ、送迎前の時間にミーティングが取れるように工夫している。	パート職員の出勤時間を早めることで、パート職員も含めたミーティングの時間を取るようにし、その日の支援内容や役割、子どもの様子を話し、打ち合わせをするようにしました。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	常勤職員間では、送迎終了後に報連・相を行うようにし、気づきなど共有している。	送迎終了後の職員全員での振り返りは、難しいので、翌日のミーティングで、気づきを話すようにしています。

	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	複写式の支援提供記録用紙で活動の記録をするようにしています。	支援の検証・改善については、PDCAをつねに意識し、職員同士でのミーティングを深めることが目標です。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	子どもの成長段階に合わせて、支援計画の見直しは、必要です。	
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	ガイドラインが示される前から、基本活動に記されている活動を取り入れています。	
関係機関や保護者との連携関係機関	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	管理者、児童発達支援管理責任者のほか、日頃の子どもの様子を理解しているものを参加させるようにしています。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	学校のお迎え時、担当教諭との連携を深めるため、日頃から会話をするように努めている。また、気づきがあるときは、様子を聞かせていただくようにしている。	こちらから担任教諭に声をかけさせていただいて、情報交換をしている。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	法人内の児童発達支援センターでの様子は、放デイ職員も見学にいかせてもらうなど、理解を深めるようにしています。	

や保護者との連携	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	相談支援専門員や福祉サービス事業所からのお尋ねについては、保護者の同意を得て、情報提供をしています。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	法人内の各児童発達支援センターや児童発達支援事業所との職員との連携関係を築いています。	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5		地域の学童などで、エイサーなどを披露したりして交流をしていきたい。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	自立支援協議会子ども部会サブ部会の放デイ交流会に定期的に参加しています。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	送迎時、面談に気づいた点など、成長をともに喜び合えるような関係を持てるように努めている。	成長しているところ、気にかかるところを伝え合っている。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	1	卒業後の進路について、ストレングスを考慮した選択肢を提案し、作業所情報などを、共に共有しています。	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)について学ぶ研修を、計画します。
保護者への説明責任	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		誰が説明しても、丁寧に説明ができる内容周知が改善目標。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	5	0	相談支援専門員主催の面談(初回、モニタリング、更新時)などにも同席し活動の中での様子、成長、今後の支援などを話し合っています。	保護者各位の同意を得ているが、まだまだ丁寧さは必要と感じている。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		定期的な相談という形をとることはできていない。今後の実施を検討していきます。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	6月に、主任相談支援専門員による、学習会をおこないました。	保護者学習会や交流会を行っています。参加者が少ないのが課題です。多くの参加をいただける内容が必要と考えています。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	相談や苦情は、迅速に真摯に向き合うことを、常に意識するようにしています。	

一 等	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	毎月のお便り、行事予定など情報の発信をしています。伝えたい、と思える活動づくりを目指しています。	毎月の行事予定、出席希望調査表、お便りなどで、情報の発信を行っていますが、時代に合わせて変更も必要と考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0		最重要課題として取り組んでいます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	口頭での伝達では、トラブルが想定されるので、わかりやすい文章を残して伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	0	新型コロナウイルス感染症の感染状況にて、地域住民との行事は行っていません。	
非 常 時 等 の 対 応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1		各マニュアルを作成しているものの、全体での周知はまだだと思っている。パート職員も含めたミーティングで、訓練の実施を計画していきたい。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1		もう少し回数を増やす必要がある。もっと計画していく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	保護者からの情報提供があり、役にたっています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2		該当者がなく、そこまでの対応は行っていないが、指示書があれば、対応を行います。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	4		事例共有しているが、文書としては共有できていない。ヒヤリ・ハットはすでにトラブルの範疇と捉えている。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	毎年、外部講師を招いて虐待研修を行っています。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	今年度から義務化された身体拘束についても学びの機会をもっています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2023年2月20日

事業所名: 放課後等デイサービス 青空 保護者等数(児童数) 25(27) 回収数 15 割合 60 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	0		フロアはパーティションにより、部屋の分離を行うことができ、別々の活動ができるようになっています。また、事務所敷地にも、別棟の部屋が確保されています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1	0	1		法定配置数の常態が保たれています。教員免許保持者を含めた児童指導員の配置がなされています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1	0	0		建物は、バリアフリー化を考慮した設計で建てられています。現在は情報伝達の為の掲示コーナーの設置が必要と考えています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	0	0	0		丁寧な清掃を心掛け、清潔感を維持できるようにしています。変化する活動の中身と施設空間が乖離しないよう、日々使いやすさを追求し、整理整頓に努めています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	14	0	0	1		相談支援専門員と連携して、子どもや保護者のニーズや課題を探っています。またセルフプランのご家庭では、面談時にニーズを聞くなどして、計画を作成しています。
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	1	0	0		個別支援計画においての支援目的については、抽象的な表現にとどめることも多いと、考えています。支援項目を細分化することで、具体的な支援内容を表現できるように配慮していきます。
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	13	0	1	1		子どもひとり一人、個別支援と集団支援の両面にたって添えるよう、支援しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	1	1	0		構成メンバーにより、楽しさを共有できる活動内容を模索しています。
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	2	0	2		新型コロナウイルス感染症の感染拡大があり、交流の機会は実施できていません。以前には、地域中学校の吹奏楽部に演奏会を開いていただき、プレゼント交換をするなど、交流を深める機会をもっていました。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	2	0	0		より丁寧な説明をすることに努力いたします。
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	1	1	0		より丁寧な説明をすることに努力いたします。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	3	1	1		卒業後の進路等については、持てる力を判断して、作業所情報などを提供し、方向性の選択肢をアドバイスするようになっています。

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	1	1	0		送迎時や面談時に、お子様の状況をお伝えし、お家での様子を聞かせていただくなどして、ともに成長を喜び合える関係を築いていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1	1	0		年1回以上は面談の機会を持つようにしています。また、相談支援専門員との面談の機会などにも同席するようにしています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2	0	2	コロナがあつて、あまり参加できなかった。	6月に保護者向けに、主任相談支援専門員による「卒業後のために備えておきたいこと」というテーマでお話をさせていただきました。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1	0	0		今後も子どもや保護者からの相談や苦情に対しては、真摯に向き合い、迅速かつ適切に対応するように、努めていきたいと思っています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	1		口頭での伝達では、聞き取り間違いが起こることも想定されるので、お便りやメールなどで、文章を残すように配慮して、伝達するよう努めています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1	0	0		『青空だより』を定期的に発行しています。放デイ各事業所の活動が伝わるように、なっています。また、この評価表の結果は、ホームページで公表されます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	1	0	0		個人情報の取扱いについては、最重要課題として、取り組んでいます。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	0	0	3		周知徹底するよう努めていきます。訓練の実施については、回数を増やしていくことを計画します。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	3		訓練の実施については、子どもたちの目線に合わせ計画していきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	1	0		「楽しめていない」というご意見には、非常に反省を感じます。子どものニーズを丁寧に探っていきたいと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	14	0	1	0		「満足していない」というご意見には、非常に反省を感じます。今後の青空に期待していただいていると捉え、努力していきたいと思っています。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。